

# 概況

本統計調査の概況は、昨年（平成20年度データ）と比較して変化はない。  
詳細は次のとおりである。

## I 学校種別

---

### 1 小学校

#### （場合別）

「休憩時間」に最も多く発生し、全体の半数を占めている。

#### （場所別）

「運動場・校庭」が最も多く、ついで「体育館・屋内運動場」「教室」に多い。体育用具や遊具を使用中の災害も多く、施設面からみた安全管理も重要である。

#### （部位別）

「手・手指部」が最も多く、ついで「足関節部」「頭部」に多い。20年前（平成元年の給付データ）と比べると、「前腕部」の発生件数が半数近くに減少しているが、「歯部」の件数が多くなってきている傾向がみられる。歯に関する事故防止については『学校の管理下における歯・口のけが防止必携』（日本スポーツ振興センター発行）が参考になる。

#### （体育活動中の運動種目別）

「バスケットボール」と「跳び箱」が他の種目より格段に多い。そのあとに「サッカー」「ドッジボール」が続いている。

#### （時間帯別）

「10時」「13時」に極端に多く発生している。「10時」は業間休み、「13時」は昼食時休憩時間（昼休み）であり、いずれも「休憩時間」での多発の裏付けデータとなっている。なお、中学校・高等学校では業間休みを設けているところはほとんどないため、小学校と同じ傾向にはなっていない。

### 2 中学校

#### （場合別）

「課外活動」に最も多く発生している。「課外活動」のほとんどは「体育的部活動」によるものである。

#### （場所別）

「体育館・屋内運動場」「運動場・校庭」が最も多い。身体的発達に伴い、体育も競技志向が強まる結果として多く発生するのではないかと推測される。次いで「教室」が多いが、小学校に比べ件数がかなり少なくなっている。

#### （部位別）

「手・手指部」が最も多く、ついで「足関節部」「眼部」「足・足指部」が多い。そのなかでも「眼部」は、20年前（平成元年の給付データ）に比べ、けがの増加が著しい。

#### （体育活動中の運動種目別）

球技中のけがが多く、全体の77.03%を占めている。その内訳は「バスケットボール」「サッカー」

「バレーボール」「野球」の順で多い。球技以外の種目を含めても順位は変わらず、一般的に部員数の多い部活でけがの発生件数が多い傾向がみられる。

(時間帯別)

「10時」「11時」に最も多く発生している。午前中に行われる教科体育によるものと思われる。次いで、「16時」「17時」の発生が多いが部活動中によるものと思われる。

### 3 高等学校

(場合別)

「課外指導」に最も多く発生している。「課外指導」のうち「体育的部活動」がほとんどを占めており、全体でも半数以上の発生割合となっている。

(場所別)

「体育館・屋内運動場」と「運動場・校庭」において、全体の約70%を占めている。このことは、「課外活動」つまり部活動中での事故が多いことを裏付けた結果といえる。

(部位別)

「足関節」と「手・手指部」の発生数が多い。また、部位のうち大項目でみると「下肢部」の発生割合が最も多い(43.8%)。下肢部のけがについては、体幹部を鍛え体の中心(軸)を安定させることが有効とされている。詳しくはホームページ等で公表しているセンターの学校災害防止調査研究委員会第一部会の研究内容「体育的部活動のけが防止プログラム」が参考となる。

(体育活動中の運動種目別)

高等学校でも、小学校・中学校と同じく「バスケットボール」にけがが最も多く発生している。2位は「サッカー」、3位は「野球」の順である。高校生では、体の成長に伴いより専門的で激しい運動を伴うため、大きなけがにつながることも多く、ルールや競技特性を十分理解させる必要がある。

(時間帯別)

「10時」「11時」「17時」に多く発生している。

### 4 幼稚園・保育所

(場合・場所別)

幼稚園・保育所ともに「保育中」における「園舎内」と「園舎外」でほとんどを占めている。幼稚園では「運動場・園庭」で最も多く発生しており、保育所では「教室(保育室)」での発生が最も多い。

(体育用具・遊具別)

「すべり台」が最も多いのは幼稚園・保育所ともにみられる傾向である。「すべり台」は逆さのぼりなどの誤った使い方によるものも多いため、すべり台の安全な使用方法の研究と、子どもたちへの「安全教育」の開発も重要である。

(部位別)

幼稚園と保育所では順位が若干違うものの「頭部」、「眼部」、「歯部」が上位3項目を占めている。その他、「顔」に関する部位が多く続く。これは、友達同士による接触や自らの転倒によるものが多く、不意を突かれた時の対応がうまくできないことによると思われる。

(月別)

幼稚園と保育所では「10月」の発生割合が多くなっている。「10月」は、運動会などの体育的行事が多いため、そこでのけがによるものと思われる。

## Ⅱ 発生割合別

### 1 負傷における場合別発生割合

学校の管理下を、各教科・道徳（各教科等）、特別活動、課外指導、休憩時間、寄宿舎、技能連携、通学（園）中に分類し、各学校種ごとにそれぞれの割合を表したものが図1である。

幼稚園・保育所については、保育中、通園中、寄宿舎に分類している。

小学校においては「休憩時間」に発生するケースが半数以上を占めている教師の目に届きにくい時間帯であり、日頃からの注意喚起が必要である。中学校以上になると、年齢が高くなるにつれて「休憩時間」の怪我が減少し、「課外活動」、つまり部活動の占める割合が非常に高くなる。部活動時のけがの予防には活動環境を整える等、安全指導が大切である。当センターの委員会で作成した「体育的部活動のケガ防止プログラム」を参考としたい。（当センターホームページで公開中）

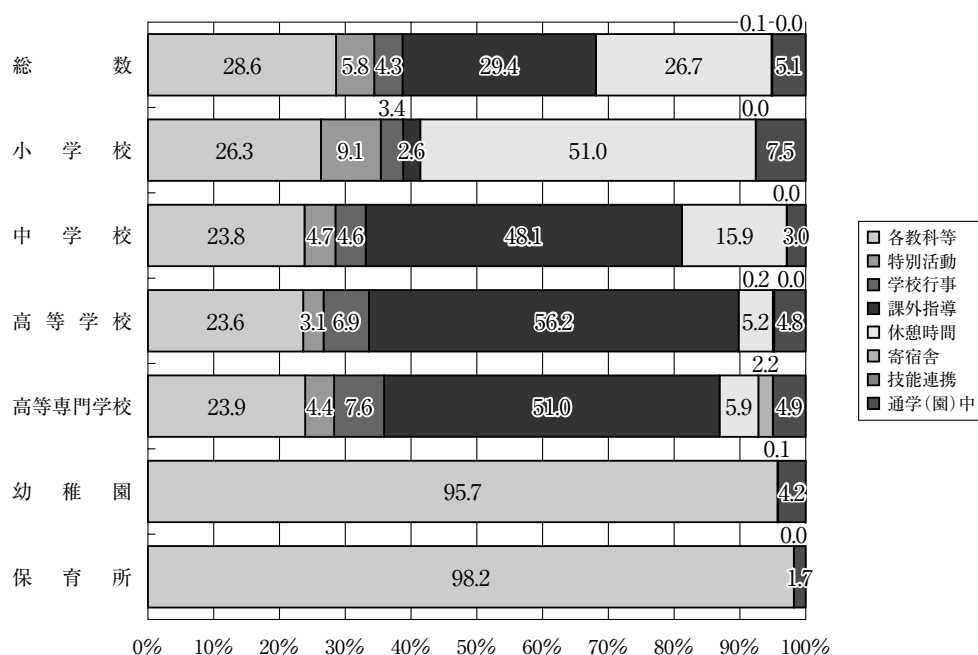


図1 負傷における場合別発生割合

表1

単位：%

	各教科等	特別活動	学校行事	課外指導	休憩時間	寄宿舎	技能連携	通学(園)中	合計
総数	28.6	5.8	4.3	29.4	26.7	0.1	0.0	5.1	100.0
小学校	26.3	9.1	3.4	2.6	51.0	0.0	-	7.5	100.0
中学校	23.8	4.7	4.6	48.1	15.9	0.0	-	3.0	100.0
高等学校	23.6	3.1	6.9	56.2	5.2	0.2	0.0	4.8	100.0
高等専門学校	23.9	4.4	7.6	51.0	5.9	2.2	-	4.9	100.0
幼稚園	95.7	-	-	-	-	0.1	-	4.2	100.0
保育所	98.2	-	-	-	-	0.0	-	1.7	100.0

単位：人

	各教科等	特別活動	学校行事	課外指導	休憩時間	寄宿舎	技能連携	通学(園)中	合計
総数	291,127	59,601	44,216	299,745	271,686	688	17	52,230	1,019,310
小学校	105,092	36,371	13,465	10,493	203,971	35	-	30,161	399,588
中学校	84,927	16,653	16,354	172,128	56,740	171	-	10,659	357,632
高等学校	48,682	6,475	14,220	115,932	10,837	398	17	9,862	206,423
高等専門学校	559	102	177	1,192	138	52	-	115	2,335
幼稚園	19,468	-	-	-	-	24	-	859	20,351
保育所	32,399	-	-	-	-	8	-	574	32,981

※1 帳票1-2参照

## 2 負傷における種別発生割合

年齢が上がるにつれて比較的軽度な「挫傷打撲」からの症状の重い「捻挫」「骨折」への発生割合が移行しているが、これは、より激しい運動や子どもたちの活動・行動範囲が広がるためと思われる。

各学校種ごとに、どんな負傷が多いかを示したものが図2である。

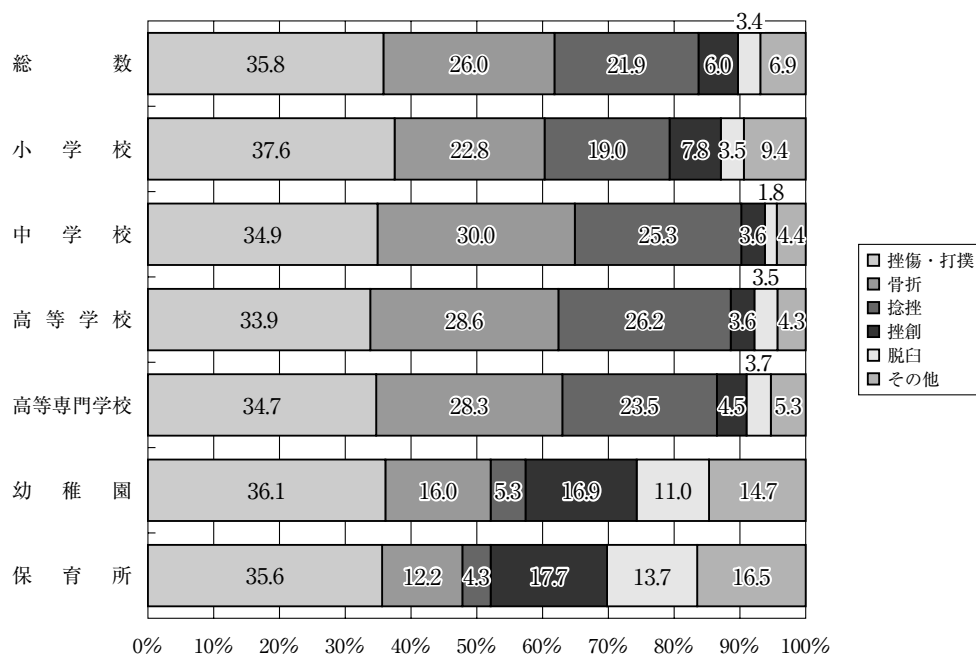


図2 負傷における種別発生割合

表2

単位：%

	挫傷・打撲	骨折	捻挫	挫創	脱臼	その他	合計
総数	35.8	26.0	21.9	6.0	3.4	6.9	100.0
小学校	37.6	22.8	19.0	7.8	3.5	9.4	100.0
中学校	34.9	30.0	25.3	3.6	1.8	4.4	100.0
高等学校	33.9	28.6	26.2	3.6	3.5	4.3	100.0
高等専門学校	34.7	28.3	23.5	4.5	3.7	5.3	100.0
幼稚園	36.1	16.0	5.3	16.9	11.0	14.7	100.0
保育所	35.6	12.2	4.3	17.7	13.7	16.5	100.0

単位：人

	挫傷・打撲	骨折	捻挫	挫創	脱臼	その他	合計
総数	364,968	265,307	223,630	60,649	34,219	70,537	1,019,310
小学校	150,360	90,910	75,823	31,154	13,888	37,453	399,588
中学校	124,775	107,380	90,620	12,771	6,362	15,724	357,632
高等学校	69,922	59,090	54,147	7,331	7,134	8,799	206,423
高等専門学校	811	660	548	106	87	123	2,335
幼稚園	7,349	3,258	1,085	3,436	2,234	2,989	20,351
保育所	11,751	4,009	1,407	5,851	4,514	5,449	32,981

※1 帳票3-1(2)、3-2(2)、3-3(2)、3-4(2)、3-5(2)、3-6(2)参照

### 3 負傷における部位別発生割合

保育所・幼稚園・小学校では「頭部」「顔部」の発生割合が高くなっているが、これは転倒した時に手をつくという、とっさの動作が上手くとれないためと思われる。中学校・高等学校となるにつれて、「上肢部」「下肢部」の発生割合が増加するのも特徴である。

各学校種ごとに、各部位における負傷の発生割合を示したものが図3である。

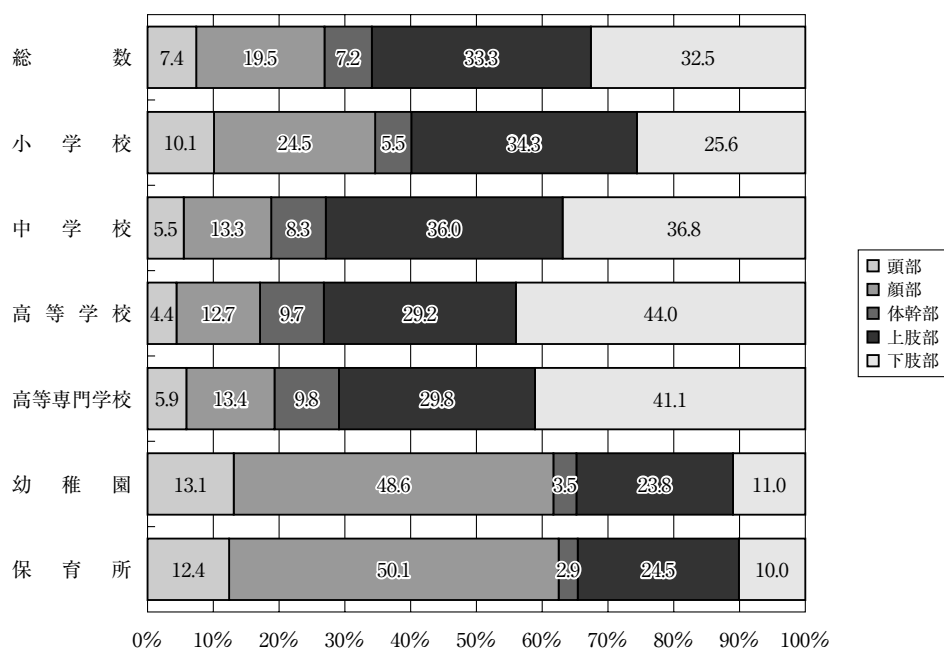


図3 負傷における部位別発生割合

表3

単位：%

	頭部	顔部	体幹部	上肢部	下肢部	合計
総数	7.4	19.5	7.2	33.3	32.5	100.0
小学校	10.1	24.5	5.5	34.3	25.6	100.0
中学校	5.5	13.3	8.3	36.0	36.8	100.0
高等学校	4.4	12.7	9.7	29.2	44.0	100.0
高等専門学校	5.9	13.4	9.8	29.8	41.1	100.0
幼稚園	13.1	48.6	3.5	23.8	11.0	100.0
保育所	12.4	50.1	2.9	24.5	10.0	100.0

単位：人

	頭部	顔部	体幹部	上肢部	下肢部	合計
総数	75,872	198,546	73,671	339,687	331,534	1,019,310
小学校	40,172	97,924	21,979	137,033	102,480	399,588
中学校	19,653	47,713	29,776	128,771	131,719	357,632
高等学校	9,129	26,188	20,009	60,253	90,844	206,423
高等専門学校	137	314	228	696	960	2,335
幼稚園	2,676	9,883	709	4,853	2,230	20,351
保育所	4,105	16,524	970	8,081	3,301	32,981

※1 帳票3-1(1)、3-2(1)、3-3(1)、3-4(1)、3-5(1)、3-6(1)参照

## 4 負傷と疾病の割合

本センターの災害共済給付制度は、学校の管理下の事故災害（負傷、疾病、死亡及び障害）について給付の対象としているが疾病の範囲について、支給対象の疾病が限定されているため、どの学校種においても、疾病の割合が極めて低くなっている。

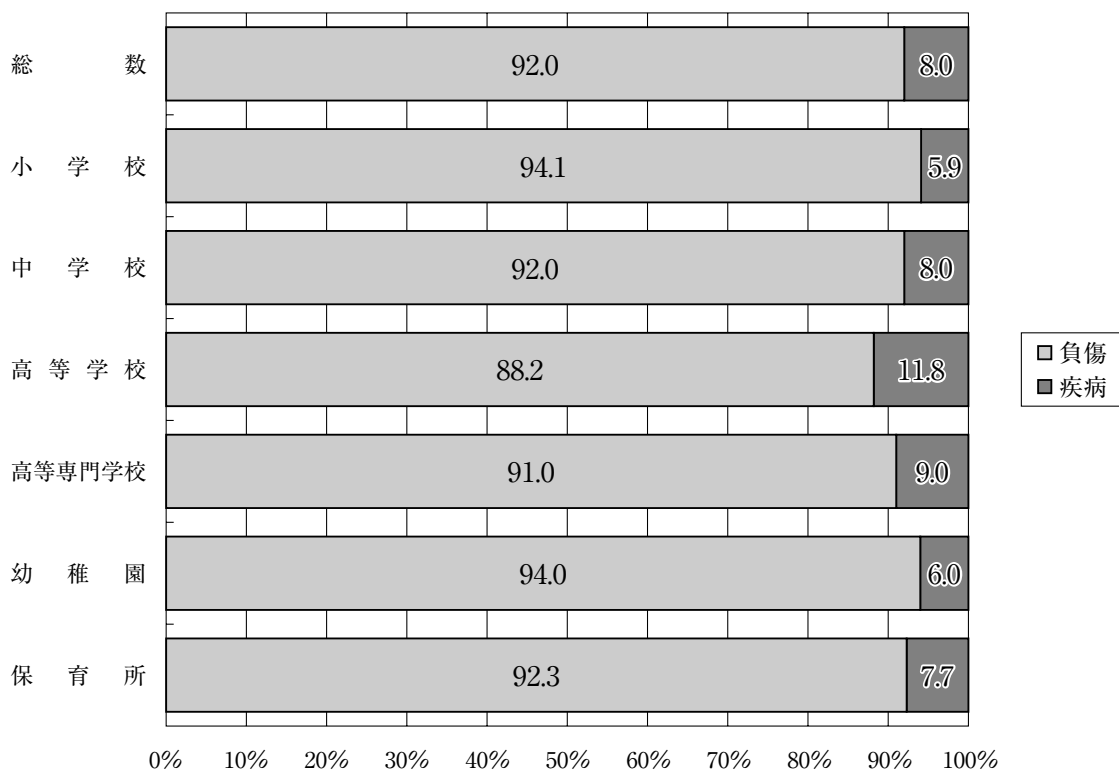


図4 負傷と疾病の割合

表4

単位：%

	負傷	疾病	合計
総数	92.0	8.0	100.0
小学校	94.1	5.9	100.0
中学校	92.0	8.0	100.0
高等学校	88.2	11.8	100.0
高等専門学校	91.0	9.0	100.0
幼稚園	94.0	6.0	100.0
保育所	92.3	7.7	100.0

単位：人

	負傷	疾病	合計
総数	1,019,310	88,102	1,107,412
小学校	399,588	25,128	424,716
中学校	357,632	31,077	388,709
高等学校	206,423	27,601	234,024
高等専門学校	2,335	232	2,567
幼稚園	20,351	1,297	21,648
保育所	32,981	2,767	35,748

※1 帳票1-1参照



## 5 負傷における男女の割合

各学校種ごとの負傷における男女の割合については図5のとおりである。

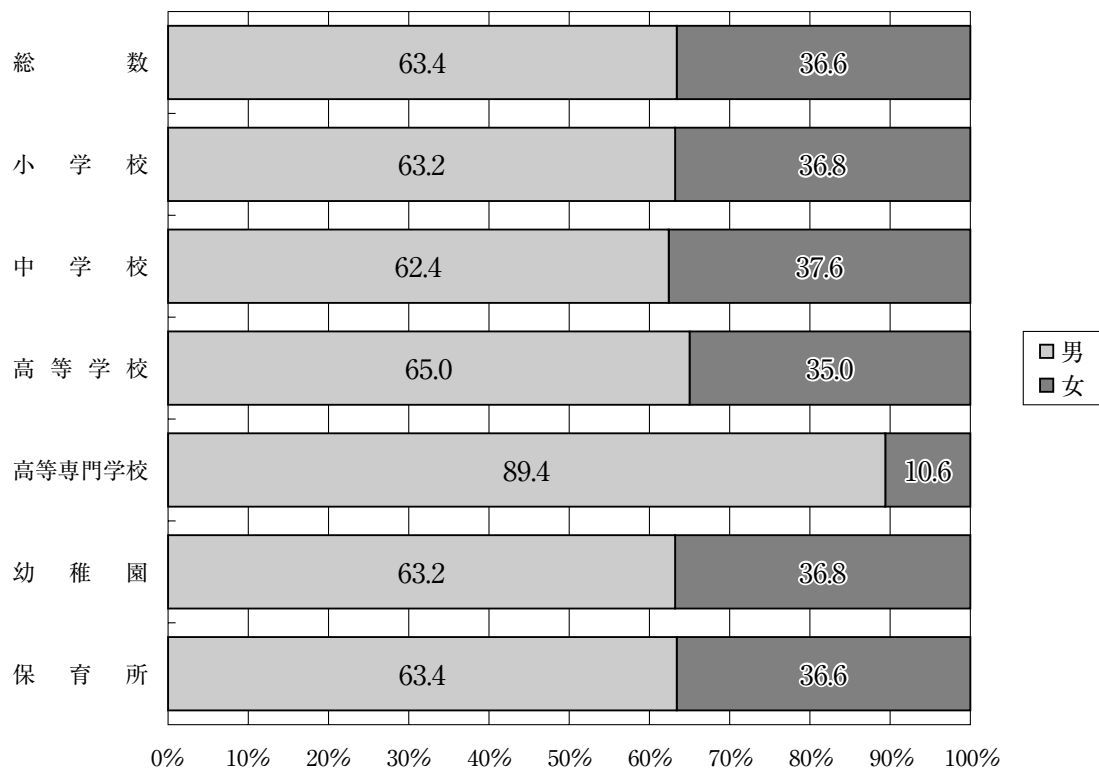


図5 負傷における男女の割合

表5

単位：%

	総数	小学校	中学校	高等学校	高等専門学校	幼稚園	保育所
男	63.4	63.2	62.4	65.0	89.4	63.2	63.4
女	36.6	36.8	37.6	35.0	10.6	36.8	36.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

単位：人

	総数	小学校	中学校	高等学校	高等専門学校	幼稚園	保育所
男	645,786	252,659	223,162	134,113	2,088	12,863	20,901
女	373,524	146,929	134,470	72,310	247	7,488	12,080
合計	1,019,310	399,588	357,632	206,423	2,335	20,351	32,981

※1 帳票1-1参照

## 6 疾病における男女の割合

各学校種ごとの疾病における男女の割合については図の6のとおりである。

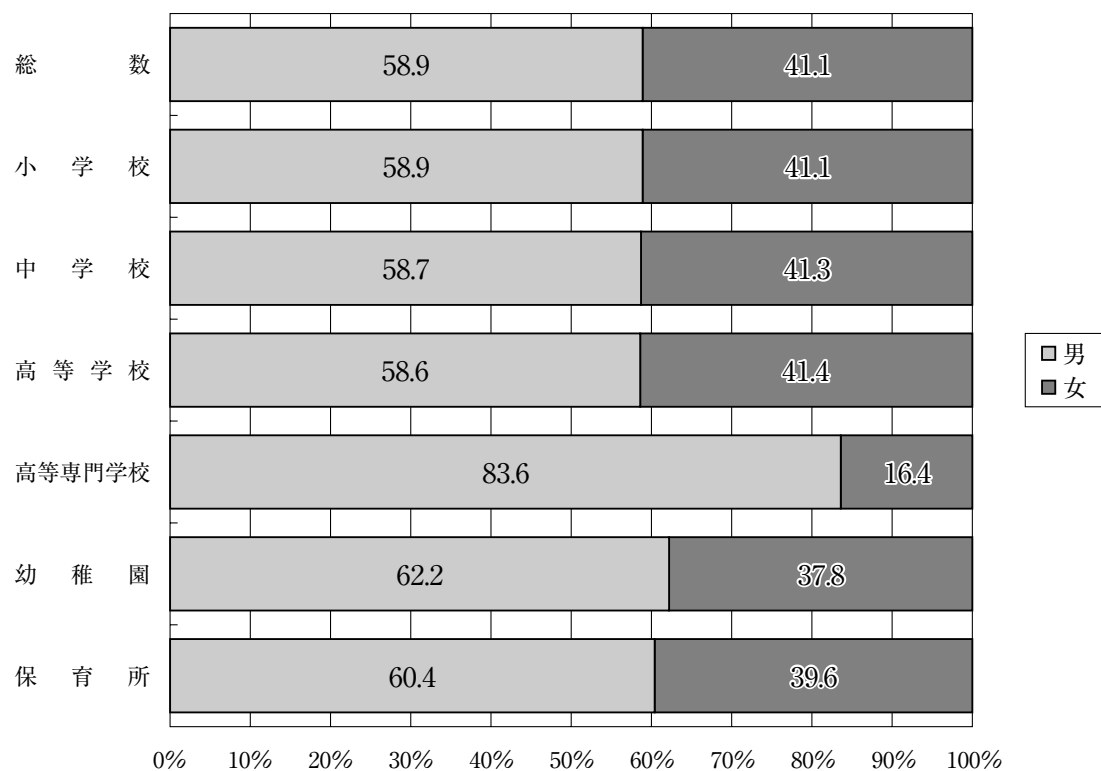


図6 疾病における男女の割合

表6

単位：%

	総数	小学校	中学校	高等学校	高等専門学校	幼稚園	保育所
男	58.9	58.9	58.7	58.6	83.6	62.2	60.4
女	41.1	41.1	41.3	41.4	16.4	37.8	39.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

単位：人

	総数	小学校	中学校	高等学校	高等専門学校	幼稚園	保育所
男	51,894	14,804	18,235	16,184	194	807	1,670
女	36,208	10,324	12,842	11,417	38	490	1,097
合計	88,102	25,128	31,077	27,601	232	1,297	2,767

※1 帳票1-1参照